

一工夫で安全と生産性を

付知営林署 基幹作業職員 ○中山 智 孝

” 中 島 重 光

1 目 的

付知製品事業所には生産セットが二班あって、A班は主に貴重となった「木曾ヒノキ」や「サワラ」等の天然林の生産を実行し、私が所属するB班は、この地域で銘柄化した「東濃ヒノキ」を専門に手掛けており、少しでも良い素材を美しいままで、安全に早く市場へ出すように努力をしています。

私は国有林へ入る前には民有林で伐採の仕事をしておりましたが、国有林では安全衛生に関するきまりが多いことに驚き、最初はなかなか覚えることが出来ず先輩に注意をされる日がしばらく続きました。

民間では大きな会社や団体は別としても、2・3人の小規模で山仕事をしているところではチェーンソーは使いたい放題で「時間規制」や「冬季の休止期間」もありません。まして「リモコンチェーンソー」や「移動玉切装置」は使用されておらず、国有林へ入って初めて見たようなわけです。

国有林も最近は生産地が奥地へ移ったため地形も急峻になり、作業条件は年々悪くなっておりませんが、先輩から安全の事や仕事を教えてもらいながら楽しくやっております。

特に私たちの班では安全や仕事について班長を中心に色々工夫をし、

- (1) 安全作業は個人の意識の高揚と班員の和で達成する。
- (2) 決めたこと、決められたことは必ず守り、守らせる。
- (3) 個人が考え、工夫したことは班の中で検討し、良いと思われることは積極的に仕事にとりいれる。

をモットーにして仕事をしております。

2 内 容

このような考え方のなかで平成4年度と5年度の二か年にわたって実行した生産地は

- (1) 事業実行地には林道がなく、峰越しの二段集材となる。
- (2) 二段目は林地に対して横方向に低い集材線しか張れないため小尾根に材がかかる。

- (3) 荷卸盤台は林道の対岸にしか作設できない。
- (4) 生産地の下方には良材が林立した民有林が約600m隣接しており伐採にあたり民有林への倒し込みが許されない。

このような事が全員による山見の時点でわかったので皆で話し合いを持ち、

- (1) 二段目の集材線は中間サポートを尾根に設置することで材が尾根をすることを防ぐことができました。
- (2) 部分的に「ラジキヤリー」を使うことで山落しを排除して材の汚れや損傷を防ぐことができました。
- (3) 小谷に布団籠を積んで5m材を渡して簡易な木橋を作り盤台近くまでトラックが入れるようにして集材の工程を軽減すると共に盤台も高いものとして配車のない日でも生産に支障のないものとなりました。
- (4) 特に私たちが気を使ったのは、国有林の木が民有林側に枝を張っていることから「クサビ」と「受け口」だけで伐倒方向をうまくコントロール出来るかどうかということでした。

全員でどうしたら良いのかを話し合いましたが、私が民有林で小さな山ばかり手掛けてきた経験から「民間ではあらかじめ伐倒方向へ木起こし器で引いておいてから伐倒するので今度もやってみては」と提案してところすぐに実行に移してくれました。

方法は立木の3m位の高さにナイロンロープを掛けて伐倒方向へ少し引いておいて「受け口、追い口」切りをし最後に「クサビ」を打って伐倒終了です。

木起こし器はメーカーによって「シメラー」とか「プラロック」とか色々ありますが、当署では、マーベルの「プラロック」という製品を使いました。これは自重が1.8kgしかなく軽量ですが、横引きで1000kg、吊り上げで200kgの能力があり、「受け口」と「プラロック」と「クサビ」の組合せにより100%伐倒方向をコントロールすることができました。

又、このプラロックはチルホールの自重5~26kgに比べて軽量なことから、いつも携帯して伐倒だけでなく、ホールラインの株替えの時、手でワイヤーロープを引張るのに比べ安全に労力の軽減ができましたし、間伐の掛かり木処理にも好結果を得ています。

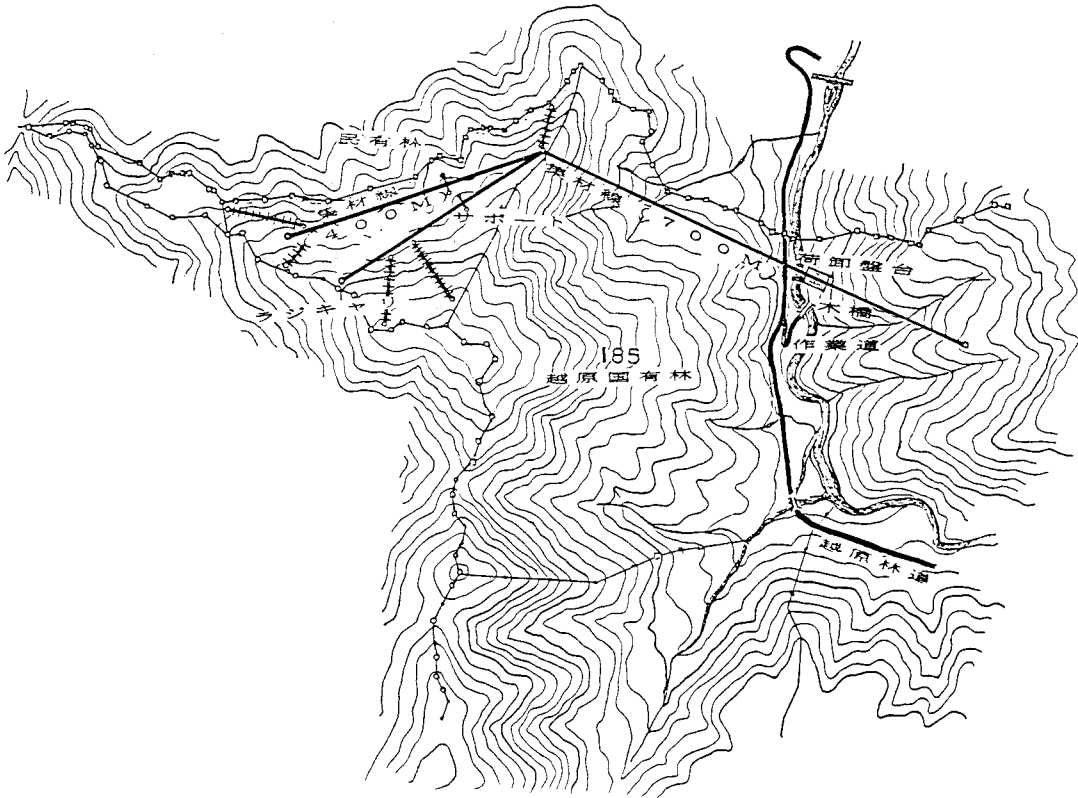
3 結 果

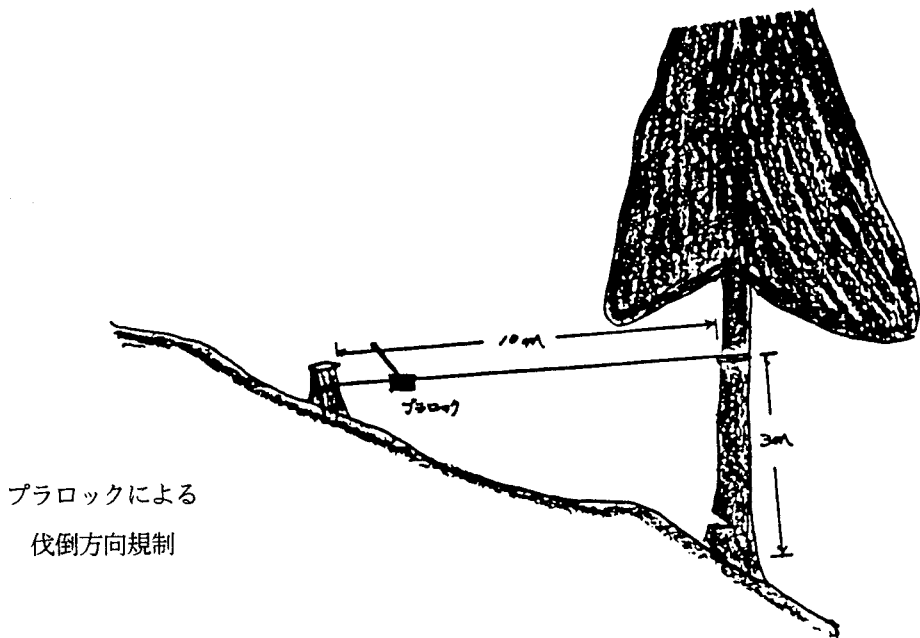
以上のような生産努力と産地による品質の良さとがあいまって販売での人気も高く「東濃ヒノキ」の銘柄にふさわしい素材生産を行って大きな成果を得ました。

事業を進めるうえで班の中で皆が意見を出し合い、工夫をすることで次第に良い知恵が出て仕事が楽しいものとなりました。

若い者の意見も聞いてもらえる良い職場で自分の意見が現場の仕事に取り入れられた時の喜びと充実感は次の仕事の「ヤリガイ」につながりますし、常に先輩に学び工夫することでより安全に作業を進めることができ、又それが生産性の向上につながるものと考えます。

平成4年度、平成5年度事業実行箇所





公 売 結 果 （5年4月～11月実施）

公 売 月	越 原 材				そ の 他			
	材 積	予定単価	入札単価	値開率	材 積	予定単価	入札単価	値開率
4	201	50,987	71,821	141	227	49,125	57,505	117
5	244	52,146	65,775	126	148	52,073	57,482	110
6	146	57,557	72,088	125	66	57,752	68,931	119
7	109	59,040	79,845	135				
8	121	56,253	74,385	132	12	62,716	68,778	110
9	133	50,569	70,168	139				
10					331	54,105	66,507	123
11					384	52,600	66,425	126
計	955	53,818	71,328	133	1,168	52,679	63,743	121